

## クワンソウの効果実証

## クレイ沖縄 睡眠改善 機能性表示へ

健康食品を製造・販売するクレイ沖縄(那覇市、渡嘉敷哲代表)は5日、県庁で記者会見し、ユリ科の植物クワンソウ(和名・アキノフスレグサ)の睡眠改善作用を臨床試験で実証したと発表した。来



年1月をめどに、同社が販売するクワンソウを使用した商品を「機能性表示食品」として消費者庁に届け出し、同年5月ごろの販売を目指す。

同社は昨年12月からことし2月にかけて、那覇西クリニ



④クワンソウの睡眠改善作用実証を発表した(右から)クレイ沖縄の渡嘉敷哲代表、関西福祉科学大学の竹田竜嗣講師、那覇西クリニクの玉城研太郎診療部長、県発明協会の宮川準氏(5日、県庁)の睡眠改善に効果があると思われるクワンソウ

ックの玉城研太郎診療部長と関西福祉科学大学の竹田竜嗣講師の協力を得て、睡眠の質に問題を抱える成人男女32人を対象に、2週間の臨床試験を実施。睡眠前にクワンソウエキスが入ったカプセルを飲

ませ、睡眠時の脳波を測定した結果、入眠時間が早くなり、就寝中に脳が目覚める中途覚醒が減少。深い眠りの状態を指す「ノンレム睡眠」の割合が増加した。

クワンソウには、睡眠改善に効果があるアミノ酸の一種「オキシピナタニン」が含まれている。今回の結果を受け、同社は、オキシピナタニンの含有量を多く含んだ状態で製造する方法の特許として申請

している。

同社は来年5月をめどに、クワンソウを使った全商品を「機能性表示食品」として販売する準備を進めている。クワンソウの効能を認知しているインバウンドの中国人や、海外の華僑をターゲットに販路拡大を目指す。

同社の渡嘉敷代表は「沖縄

の伝統食材のクワンソウを沖縄ブランドとして、世界に広げたい」と意気込んだ。

クワンソウは、沖縄や台湾など温暖な地域に育つ伝統的な薬草で、睡眠効果やリラックス効果があるとされ、琉球王朝時代から、人々の間で食されてきたとされている。